



日野中学生恩山面訪問使節団報告



恩山中学生との交流

韓国の友達に会ってよかったよ！



▲恩山中学校の生徒・先生、通訳さんと最後に記念写真



恩山面…大韓民国忠清南道扶餘郡の北西部にある、面積 69.48km²の町です。

1990年(平成2年)に姉妹都市提携を結んだ日野町と韓国・恩山面。今年交流20周年を迎えます。その間、お互いに訪問し合い、交流を重ねてきました。

今回7回目を迎える「日野中学生恩山面訪問使節団」は、恩山面と日野町の中学生同士が交流することを目的としています。8月2日(月)から5日(木)までの4日間、日野中学生をはじめ計7名の使節団が、恩山面を訪問しました。さまざまな体験を通して、お互いの文化を学び、心を通わせる交流となりました。

ソウルから大田までKTX(韓国高速鉄道)に乗り、扶餘郡へ。恩山中学校の先生方が、韓国の官邸料理で歓迎会をしてくださいました。初めて韓国料理を味わい、食文化の違いを体験しました。

翌日は、恩山中学校を訪問し、約140名の生徒たちと交流会を行いました。日野中学生4名で、スライドを使った学校紹介を行いました。恩山中学校の生徒による伝統芸能「サムルノリ」は、太鼓と鐘の音が鳴り響き、韓国文化を目の当たりにすることができました。バスケットボールによる交流も行い、言葉の壁を越えた楽しいひとときを過ごしました。最後はお礼に韓

国民謡「アリラン」をリコーダーで演奏しました。午後は恩山面事務所を表彰訪問し、鄭東賢面長とお会いしました。その後、金鎮鏞校長先生が扶餘を案内してください、恩山別神堂にも訪れました。ここは、恩山面との交流のきっかけとなったところです。大字小野にある鬼室神社は、1300年前、韓国から移住し、日本の文化に貢献されたと伝えられる鬼室集斯がまつられています。父・鬼室福信が恩山別神堂にまつられていることから、友好を深めることとなりました。その夜は、恩山中学生の家庭でホームステイ。それぞれに温かく迎えてもらい、思い出に残る夜となりました。

翌朝、恩山中学校の生徒・先生方とお別れ会を開催。日野中学生一人ひとりがみんなの前で、お別れの挨拶を行いました。その後は、水原華城や景福宮などを訪れ、韓国の歴史を学びました。



▲ホームステイ先の友達と一緒に



▲恩山中学校の友達とお別れの握手

中学生の感想レポートから

言葉は通じなくても楽しく交流できましたが、僕は、恩山中学校の皆さんと色々話したかったので、韓国語をしっかりと学び、訪問できたらもっと深い交流ができたのではないかと思います。韓国が好きになったので、少しずつ勉強したいと思います。(岡本)

この4日間、韓国の文化をいろいろ知ることができました。これも全て家族をはじめ皆のおかげだと思います。まわりの人達に感謝しています。大切な思い出をありがとうございました。(中河真)

僕は、この韓国・恩山面のことを一生忘れないと思います。韓国・恩山面で学んだことを、今後どのようなことにも活かしていきたいです。(山添)

一番、心配していた言葉は、どうにかなるものだと分かりました。人間は、皆同じ、心で通じ合えると言ったことも分かりました。(中河真)

使節団メンバー「敬称略」

- ◆ 団長(教育長) : 奥村薫
- ◆ 団員 : 岡本朋也(2年)・中河智徳(2年)・山添直樹(2年)・中河真哉(1年)
- ◆ 引率(日野中教頭) : 奥井雅秀
- ◆ 随員(役場企画振興課主査) : 野瀬田真弓